

2020年1-3月期2次QE(改定値)の公表について

資料2-2

- 2020年1-3月期2次QE(6月8日公表)で反映した「2020年1-3月期法人企業統計調査(速報)」(財務省)については、通常より回収率が10%pt程度低下しており、実勢とは異なる集計結果となっている可能性があるとしてされている。
- こうした状況を踏まえ、より精度の高いGDP統計を迅速に統計利用者に提供するため、7月27日公表の法人企業統計(速報)の結果を反映した2020年1-3月期四半期別GDP速報(2次速報値)の改定値を8月3日に公表する。

<「法人企業統計調査」における資本金区分別回収率>

資本金区分	1千万円以上 1億円未満	1億円以上 10億円未満	10億円以上	合計
2019年10-12月期	65.8%	72.4%	89.1%	72.7%
	(65.9%)	(71.8%)	(88.1%)	(72.5%)
2020年1-3月期 (速報)	56.2%	62.1%	76.6%	62.3%
	(55.8%)	(60.9%)	(74.4%)	(61.4%)

(参考)東日本大震災時の状況

資本金区分	1千万円以上 1億円未満	1億円以上 10億円未満	10億円以上	合計
2010年10-12月期	64.2%	76.4%	88.4%	73.7%
	(64.6%)	(75.6%)	(87.6%)	(73.7%)
2011年1-3月期 (速報)	58.0%	71.0%	82.9%	68.0%
	(58.0%)	(70.0%)	(82.1%)	(67.7%)
2011年1-3月期 (速報)	65.3%	77.2%	89.3%	74.7%
	(65.4%)	(76.5%)	(88.6%)	(74.6%)

速報から速報にかけて設備投資(全産業ソフト除く)前年比は4.2%から3.4%に改定

2011年1-3月期の民間企業設備(実質季節調整済前期比)は、以下のとおり改定

2011年1-3月期2次QE時点:▲1.3%
2011年4-6月期1次QE時点:▲1.4%

(備考)下段括弧内は、金融業、保険業を除いた数字

(参考)有形固定資産の前期末・今期首の乖離率

＜「法人企業統計調査」における有形固定資産の前期末・今期首乖離率＞

(単位:%)

年\期	1-3	4-6	7-9	10-12
2017	0.8	0.8	1.3	1.8
2018	1.7	3.1	0.7	0.6
2019	0.5	1.5	2.3	0.5
2020	15.7			

(備考)

- ・金融業、保険業を除いた、資本金10億円以上の階層。
- ・法人季報における、各期の有形固定資産について、「前期末値」と「今期首値」の乖離率(絶対値)を計算。
- ・国民経済計算の民間企業設備の推計にあたっては、こうした期末・期首の断層を調整している。